

(平成 22 年度)

## 第 6 類 (後期日程 B コース)

### 課 題

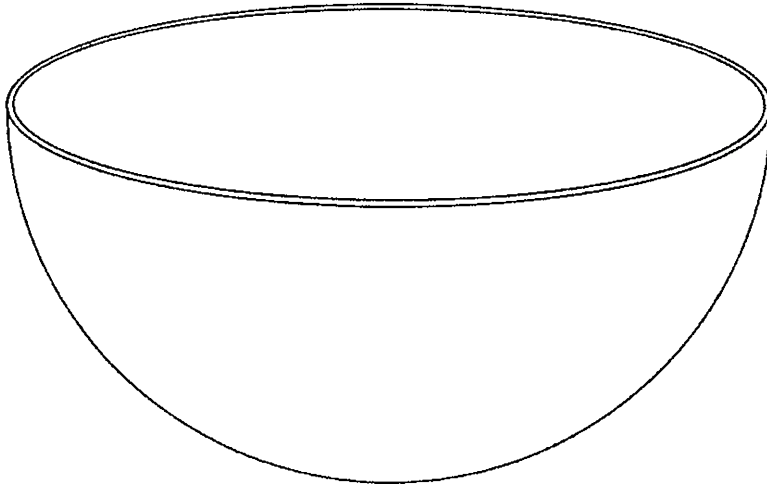
1 2 0 分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図までこの冊子を開かないこと。
2. この冊子には、問題用紙 1 ページが含まれている。
3. この冊子とは別に、答案用紙として A3 のケント紙 1 枚、  
下書き用紙として A3 の普通紙 1 枚が配布される。
4. 問題用紙に記された注意をよく読むこと。
5. 答案用紙と下書き用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 答案用紙の受験番号欄が印刷された面のみに解答すること。
7. 解答に使用できる用具は、黒鉛筆・三角定規・ものさし・  
消しゴムだけです。

## 問題 (第 6 類 B コース)

下図のような、直径 10cm で肉厚が 3mm の、表面が滑らかなステンレス製の中空の半球が 7 つある。それについて以下の問いに答えよ。



図

課題 1 その中空の半球すべてを使って、十分に広いステンレス製の水平面上で自立できる立体を構成し、その全体像ができるだけわかるような絵を 1 つ描け (背面の一部が隠れるためにその部分を表現できないことがあり得るが、やむを得ないこととして認められる)。

課題 2 立体を構成する際に留意した点を 150 字程度の文章で説明せよ。

解答に際しての条件

- 1) 半球同士は、球面の 1 点で接触しているだけでも接合可能とし、その状態を保持できるものとする。なお、半球はそのままの形で使うこととし、それを分割したり変形してはならない。
- 2) スケッチでは、中空の半球であることがわかるように表現を工夫すること。
- 3) 立体感を出すために、陰影を付けること。またステンレスの質感を表現するように工夫すること。

解答に際しての注意

- 1) 答案用紙の受験番号欄が印刷された面のみで解答すること。
- 2) 2 つの課題の解答は、答案用紙にバランスよく配置すること。
- 3) 図は、定規を用いて描いても、フリーハンドでもよい。